

令和7年第3回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	12	八木吉夫	1 大崎市バイオマス産業都市構想について (1) 木質バイオマス利活用プロジェクトの進捗状況について伺う 2 ゲリラ豪雨、線状降水帯被害対策について (1) ゲリラ豪雨、線状降水帯被害について、どのような対策を講じられるのか、現状の排水機能で対応できるのか伺う
2	13	佐藤講英	1 大崎市の学力向上と学童保育における学習支援について (1) 大崎市の全国学力・学習状況調査の結果と課題の認識について (2) 義務教育学校における学力向上の取組と成果について (3) 学童保育における学習支援に対する市の考えについて (4) タブレット、A Iドリル等を活用した学習支援を学校・学童保育で連携して進める考えについて 2 米政策の大転換と地域農業への影響について (1) 米増産が本市の農家や産業振興計画にどのような影響を及ぼすと認識しているか (2) 輸出対応が本当に可能かどうか、市としての見解は (3) 米増産がほかの農産物、とりわけT P P で守られる5品目に影響を及ぼす可能性と、その場合の対応について (4) 消費者米価の高止まりが学校給食や市民生活に及ぼす影響と対策について 3 認知症の人とその家族が地域の輪の中で元気に暮らせる地域づくりについて (1) 大崎市における、認知症の人とその家族への現行支援策の実態はどうか (2) 相談窓口や支援制度に行けない、使えない市民に対して、匿名相談、非対面相談、医療機関との連携、認知症カフェ等を活用した柔軟な支援体制の拡充をどう考えるか (3) 介護という言葉に抵抗を感じる市民に対し、健康づくり、生活支援サービスといった表現を用いた間口の広い普及啓発や、家族、代理人を通じた相談制度など、新しい寄り添い型支援の必要性について市の見解を問う
3	10	鹿野良太	1 子どもの健全育成と地域共生社会に資するプレーカーの導入可能性について (1) 民生常任委員会では瀬戸内市の移動遊び場プレーカーの取組を視察した。子どもの遊び場環境が地域や家庭の事情により格差を生んでいる中、複数の自治体でプレーカー（移動式あそび場）を活用した取組が進ん

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
4	25	小沢和悦	でいる。 地域資源を生かし、子どもたちの健全育成、子育て世帯の孤立防止、世代間交流の促進に効果があるとされるが大崎市においても、既存事業との連携を図りつつ、導入可能性を検討すべきと考えるが、所見を伺う 2 冬季競技スポーツの振興と課題について (1) スポーツ環境の変化と本市の対応を伺う (2) 施設の確保と地域経済への影響を伺う 3 災害に強い自治体情報基盤の構築とガバメントクラウド移行について (1) 予定通りに、7年度末にシステム移行は完了するのか伺う (2) 災害発生時における情報基盤の強靱性向上の観点から、ガバメントクラウド移行によってどのような効果が見込まれるのか (3) 移行に伴う初期費用及び長期的な運用コストの見通しについて、従来のオンプレミス環境との比較も含め伺う (4) 住民サービスに与える影響について、とくにオンライン申請等の利便性向上や、高齢者、デジタル弱者への配慮はどのように検討されているのか (5) 職員体制の変化とセキュリティ確保の取組について 1 国による訪問介護基本報酬引下げの影響と大崎市の対応について (1) 昨年度からの訪問介護基本報酬引下げが、市内訪問介護事業者にどのような影響を与えているかの調査を行い、分析と対策を検討しているか (2) 大崎市社会福祉協議会が、ほかの民間事業者が撤退した後、唯一、訪問介護事業を担っていることをどう評価しているか (3) 訪問介護基本報酬引下げによる事業所の経営維持のため努力している先進地の対応を学び、参考にして、大崎市の対応を検討したか 2 行財政運営の改善に向けた本気の取組について (1) 議会で指摘した疑問のある支出についての検証はしているか。 また、市職員による無駄を省き、問題ある支出の洗い出しプロジェクトチーム編成の提言は無視しているのか (2) 監査委員による納税（貯蓄）組合補助金の不適正支出是正を求める厳しい指摘にもかかわらず、不適正使用が明らかな補助金の返還について (3) 大崎市は口座振替促進を方針としているが、これに背く団体への補助金は行財政運営改善方針に逆行するのではないか (4) 大崎市と七日町立体駐車場経営者との使用契約における1か月1台当たり8,000円（100台分）の金額の	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
5	3	小玉仁志	根拠について (5) 契約書は2年更新で、変更を求める場合、更新期限6か月前までの申し出となっているが、本年9月中に変更を申し出る心算か 3 大崎市有共葬墓地に関するガイドラインについての市長の認識とこれからの取組について (1) 市有共葬墓地の歴史的経過と墓地の許認可権等権限の都道府県から市町村への移譲によって明らかになった諸問題の解決のために必要だったガイドライン（大崎市有共葬墓地の運営及び管理について）の策定についての市長の認識 (2) 墓地は市民生活にとって必要なものであり、公共性の高い施設なので、墓地の許認可権等の権限を持つ大崎市として墓地及び埋葬に関する法律等を具現化する大崎市墓地条例の策定に向かって努力を開始すべきと思うがどうか 1 ほなみ親水公園の維持管理について (1) 遊水池機能並びに公衆衛生維持のための除草の検討状況と進捗について (2) 地域住民とともに進める持続可能な管理の仕組みの検討状況について 2 ため池の維持管理及び活用の考えについて (1) 市内に有するため池の把握状況と維持管理の現状について (2) 有効活用の検討について 3 財政健全化の戦略について (1) 歳入における市税の推移状況（過去5年と東日本大震災以前）について (2) 将来を見据えた投資的経費の考え方について (3) 自主財源の強化策について	
6	15	中鉢和三郎	1 小規模事業者の成長投資支援について ～持続可能な商工業支援の在り方について～ (1) 消費喚起策の限界と、成長投資への転換について 本市ではこれまで、一例として、地域経済の下支えとしてパタP A Y等のプレミアムつき商品券発行事業など、一時的な消費喚起策を実施してきた。しかし、これらは需要の先食い効果にとどまり、小規模事業者の持続的な事業拡大や新たな担い手育成にはつながりにくいという課題がある。 一方、成長投資への転換の成功例として、北九州市小倉地区ではリノベーションまちづくりにより19件の遊休物件再生、445人の雇用創出が実現し、和歌山市では48物件中24件が本開業につながり、20店舗以上の新規出店が実現している。 こうした事例を踏まえ、本市として一過性の消費喚起策から、空き家、空き店舗のマッチング、チャレン	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			ジショッポの整備などの遊休物件活用の初期投資費用の支援，創業や設備投資への支援，及び人材育成などの多様な成長型投資へと政策転換を進め，小規模事業者の挑戦を支える仕組みを構築すべきと考えるが，所見を伺う (2) D X ・デジタル活用支援について 小規模事業者の販路拡大や顧客獲得には，W e b サイトやS N Sを活用した発信が不可欠だ。しかし，現状では商工会議所や商工会の支援メニューやアウトリーチが十分ではなく，事業者へのデジタル発信やE Cに取り組む支援が不足していると感じる。 本市として，W e bサイト構築，S N S発信，及びデジタルマーケティング導入といったソフト投資への支援を行い，同時にデジタル人材育成と合わせて事業者の成長を支えるべきと考えるが，所見を伺う 2 職員人財育成について ～民間との人事交流～ (1) 民間への本市職員の派遣研修の制度化について 平成19年3月に策定された大崎市人財育成基本方針が，令和2年9月に改訂されて久しい。 果たして，基本方針が目指す優れた人財が育成されているか。 次期総合計画策定に当たり外部コンサルタントへの委託を念頭に進めると聞くが，十分に有為な人財が育成されていない証左に思える。人財の育成と適材適所の登用は行財政運営の肝であり大崎市発展の礎となるものとする。 基本方針の9ページ(2)人財の能力開発①研修計画の策定及び研修の充実にもある通り，職員の職能開発は重要である。その手法として，同様に9ページのE職場外研修(O f f ー J T)の充実と支援，派遣研修・交流は強力な人財育成手段だと考える。 ここに民間企業との交流への言及があるが詳細は示されていない。 以前より，民間的手法は，コスト意識，スピード感，発想力，創造力，行動力，提案力，課題解決への突破力等々優位性についての言説があるが，今，職員に求められる能力開発に必要なものがそろっていると考え。 よって，本市の人財育成の一手法として，民間への本市職員の派遣研修を制度化すべきと考えるが，所見を伺う 3 有害鳥獣対策について ～ツキノワグマ対策～ (1) 有害鳥獣対策の強化について 連日，テレビ，新聞等で熊の被害が報道されている。人口減少，過疎化，里山の荒廃，及び自然環境の変化等により，熊が市街地や民家近傍等の市民の生活圏へ

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
7	7	石田政博	出没することが増えていることが要因と考えられるが、熊と遭遇した市民からすると、理由はどうか命の危険を強く感じるものである。 これまでも有害鳥獣対策の強化を訴えて来たが、昨今の熊による被害状況は別のステージに移行したと考えるべきだと考える。 よって、ツキノワグマの個体数管理強化をいかに図るか真剣に考えるべき時と考えるが、所見を伺う 1 大崎市の良さをアピールする手法として、公式LINEの活用について (1) 各部、各課で市民にもっと周知し活用して貰うべき施策、事業が沢山あると思うが、総務部、民生部、産業経済部、建設部、教育部それぞれ現状について伺う (2) LINE活用の現状は確認、把握しているか伺う。具体的には利用者数、年齢層、地域等と手応えや課題について。また、市民の声が届くようになっているか伺う。(双方向性か) (3) LINE登録、利用者数を増やすための方策として、若者や高齢者へのアプローチはどう考えているか 2 バタPAYの地域通貨としての活用について (1) 昨年9月議会で、各地域のポイント制度との融合なども関連機関と検討を進めるとの回答を受けたところだが、1年経って、進捗具合について伺う 3 地域自治組織運営の現状の新たな課題について (1) 来春に向けて有識者会議の検討が進んでいるが、指定管理を受託している自治組織においては、物価高騰の影響が見受けられる。年度末に向けて検討はなされているか伺う	
8	4	山田匡身	1 おおさき宝大使の活用について (1) 宝大使の活動状況について (2) 子どもの交流機会やキャリア教育に活用する考えについて (3) 郷土愛、誇りの醸成について 2 職業教育拠点高校の設置と地域連携について (1) 市としての支援体制について (2) 通学路の安全対策について 3 寄付型クラウドファンディングについて (1) 寄付型クラウドファンディングの積極的な活用について (2) 活用目的の拡大について 4 マイナ救急について (1) マイナンバーカードを活用したマイナ救急の実証事業に向け、どのように普及を進めているのか伺う	
9	6	法華栄喜	1 世界農業遺産のさらなる活用に向けたDMOの設立について	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
10	20	遊佐辰雄	(1) 大崎耕土が世界農業遺産に認定されて8年経つが、これまでの成果と今後の見通しについて伺う (2) 世界農業遺産認定による恩恵が感じられないように思われるが、現状の課題をどう捉えているのか伺う (3) 大崎耕土を構成する1市4町での観光地域づくり法人(DMO)設立による振興策の可能性について伺う 2 大崎耕土の渇水、水害対策について (1) 7月末から貯水率ゼロ%が続く鳴子ダム渇水情報連絡会に大崎市も参加しているが、現時点で市はどのように分析しているのか伺う (2) 大崎市に関わるダム管理者等と梅雨時期や豪雨情報前などの調整放流に具体的要望、情報共有、関係利水者(農業用水、水道用水、工業用水)と協議はしているのか伺う (3) 農業用ため池、防災用ため池の管理、整備が進まないが、農業被害と内水氾濫のリスクを考え、計画的に対策の強化をすべきと思うが、所見を伺う (4) 気候変動の進行を踏まえ、国や県の施策を待つのではなく、10年、20年先を見据えた水資源と防災の総合戦略を市として策定すべきと思うが、所見を伺う 1 物価高騰対策について (1) 物価高騰のおり冬季に向け、福祉灯油支援を大崎市でも実施すべきではないか 2 閉校した学校を含めた遊休公共施設等利活用促進について (1) 6月議会で一般質問した、旧小学校等の利活用に向けた検討の進捗状況はどうか (2) 湯沢市のように遊休公共施設等利活用促進条例を制定し、積極的に遊休公共施設等の利活用を図るべきではないか 3 鳥獣被害等の対策について (1) 熊による被害対策について (2) 猪による被害対策について (3) 鹿による被害も確認されているが、その対策について	
11	5	加川康子	1 第3次大崎市総合計画の策定に向けた市民参画と計画策定プロセスについて (1) 第3次総合計画の策定に当たり、市民意識調査の回収率が低い現状や、特に若年層の参加が少ない状況をどのように認識しているのか。その上で、多様な市民の声をどの段階で、どのような方法で聴取するのか (2) 第3次総合計画の策定に当たり、職員が策定過程に関わることは、政策立案力や振り返り力を育む重要な機会である。管理職から若手職員まで、それぞれの立場でどのような役割を担い、その経験や学びを組織にどう蓄積していくのか	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
12	14	佐藤弘樹	(3) 計画策定における市民意見の反映と共有について、聴取した市民の意見を、反映できたこと、できなかったことも含めて、どのように市民へフィードバックしていくのか 2 G I G Aスクール構想の振り返りと今後の学習環境整備について (1) 本市として、端末、ネットワーク、クラウドの整備と活用をどのように総括しているのか (2) I C T活用について、授業や家庭学習における活用状況を各学校ではどのように振り返り、市としてどのように把握しているのか (3) 前段の質問を踏まえ、G I G Aスクール構想の目的（個別最適な学びと協働的な学びの実現）に照らして、市全体としてどのような成果と課題があったと捉え、N E X T G I G Aスクール構想に向かってどう取り組むのか 1 空き家対策の施策展開について (1) 市内での空き家件数と解消につながる取組状況 (2) 空き家等情報提供制度の導入 (3) 空き家等の有効活用及び適正管理の推進等に関する協定への考え (4) 空家等管理活用支援法人指定への考え (5) 空き家リノベーションや地域交流施設等の整備に資する支援 2 地域おこし協力隊制度の積極活用について (1) 市内で活動されている隊員数と今後の見込み (2) 任用形態と報償費設定の考え (3) おためし地域おこし協力隊の活用 (4) 起業型、スタートアップ型の地域おこし協力隊への考え 3 地域課題について (1) J R鹿島台駅西口駅前広場のラウンドアバウトを改修し、大型バス等が利用できる乗降スペースも整備できないか (2) 鎌田記念ホール多目的グラウンドの照明灯増設への考え	
13	18	横山悦子	1 単身世帯の高齢者身元保証人について (1) 大崎市民病院等に入院する時、介護施設の申し込み等、身元保証人や連帯保証人が求められるが、保証人がいない市民への対応と連帯保証人の連帯保証極度額について伺う (2) 高齢者が市営住宅入居契約時、保証人がいない場合は、国交省では、2018年に公営住宅入居の際、保証人を求めない方針を打ち出している。また緊急連絡先の確保が困難な場合は相談次第では不要となる場合もあるが、本市の対応について伺う	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			(3) 法人後見人となっている事業所や社会福祉協議会、民間サービスなどと連携した身元保証強化の考えについて伺う (4) 身寄りのない人への入院及び医療に係る意思決定困難な方への支援に関するガイドラインの作成について伺う 2 視覚障害者の災害時支援について (1) 地図や文字情報を読めない視覚障害者に的確に情報を提供し、円滑な避難を促す、耳で聴くハザードマップの導入について伺う 3 子宮頸がん撲滅に向けた仕組みづくりについて (1) キャッチアップ接種の経過措置対象者に、市として円滑に接種を完了できるよう、これまでどのような周知を行なってきたか伺う (2) 今年度末までに接種を完了するには、令和7年12月末までに2回目の接種を行う必要がある。11月までには、接種完了を呼びかける個別通知を実施すべきと考えるが、市の対応について伺う (3) 定期接種者の接種率を向上させるための取組、対応について伺う (4) 定期接種対象者のうち14歳までに接種を開始した場合、9価ワクチンは3回ではなく2回で接種が完了できる。財政の負担軽減につながるため、14歳となる年度の中学2年生に追加で周知することが効果的と考えるが、市の考えについて伺う	
14	1	藤本勘寿	1 大崎市の未来に向けた行財政改革について (1) 財政調整基金が加速度的に減少した要因分析 (2) 7月30日に公表された基本方針の庁内外への浸透 (3) 期限を決めた行財政改革の実行計画	
15	11	佐藤仁一郎	1 鳥獣被害対策について (1) 全国的に熊の出没、人的被害などがマスコミなどで報道されている。宮城県においても、熊の目撃等の件数が大きく増加し、熊出没警報が発令されている。本市における被害状況の現況と対策について所見を伺う (2) 令和7年4月には、改正鳥獣保護管理法が可決成立し9月1日に施行された。その内容は、条件を満たした場合、市町村がハンターに委託し、猟銃の使用が可能となった。また、市町村は必要に応じて通行制限や避難指示を行うほか、猟銃の弾が建物に当たるなどの被害が出た場合、ハンターではなく市町村が補償するとしているが、本市の所見を伺う (3) 本市においても、鳥獣被害対策実施隊員の人材育成や組織強化が求められている。狩猟者の確保、育成については、捕獲の省力化、効率化を進める一方で、ツキノワグマの緊急捕獲や止め刺しの迅速化など、状況	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			に於いて、地域の課題解決に必要な技術を習熟することが重要となる。本市においても、宮城県と協力するなどし、不足していると言われているライフル銃などの扱いに習熟するための練習環境の整備も必要と考えるが、所見を伺う (4) 猪の捕獲状況と、そのうちジビエ食肉処理加工施設へ搬入された状況について伺う 2 太陽光発電設備の廃棄費用積立費用制度義務化の方向性について (1) 本市においては、2022年から太陽光発電設備の廃棄費用積立制度が義務化された。この制度が適応される設備の設置箇所数と合計面積を伺う (2) 廃棄費用の積立は、売電収入から差し引かれ、推進機関が管理する積立金の管理を行う団体に納められるとされているが、この団体の具体的内容を伺うとともに、収受の確認を行っているか伺う (3) 広大な面積に設置された太陽光パネルの撤去費用は、義務化されたが、政府において、使用済みパネルのリサイクルの義務化を断念する方針を固めたとする報道がなされた。リサイクル義務化の断念に伴い、処分場の逼迫や大量の不法投棄につながる懸念があるが、所見を伺う (4) 特に、三本木地域は、東北電力の変電所が存在することから、メガソーラーが至る所に存在し、設置、建設当初から使用後の設備機器が周辺環境や防災調整池の維持も含め不安視されてきたが、所見を伺う 3 小規模農地での土地改良事業に対する支援について (1) 本市において、耕作放棄地となった農地の推移状況を伺う (2) 営農が継続でき、耕作放棄地にならないようにするためにも、小規模農地での土地改良事業に補助率の拡充を図るべきと考えるが、所見を伺う	
16	27	鎌内つぎ子	1 社会福祉法人あすなろさくら保育園建て替えについて (1) さくら保育園保護者会からの建て替えのお願いへの対応について (2) さくら保育園の建て替えの見通しについて (3) 今後の認可保育園への建て替えについての考え方について 2 高齢者世帯へのエアコン設置支援について (1) 高齢者の命を守ることを最優先にエアコン設置に取り組むことについて 3 高齢者が安心して医療や介護を利用できるための身元保証制度について (1) 相談窓口の設置について 4 身寄りのない一人暮らしの高齢者への終活サポート支援について	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
17	24	木内知子	(1) 相談支援について (2) 専門家支援について (3) 遺品整理支援について 1 補聴器購入費支援に取り組むことについて (1) 尾花沢市の聴こえはっきり事業について (2) 医師会との連携について 2 鳴瀬川（志田橋下流域）支障木撤去について (1) 要望書への対応は行ったのか (2) 水害防止対策について 3 学校給食費無償化に向けた予算編成について (1) 骨太の方針（本年6月）に対する評価と本市の対応について	